



和と白干潟観察会のようす

夏休み!

和と白干潟の生きものやハマボウを見る会

夏の和と白干潟にはカニや生きものたちがいっぱい! 海の広場から唐原川河口を通り、牧の鼻までの海辺を歩きながら観察しましょう。牧の鼻海岸では岩場の生きものたちにも会えますよ! 牧の鼻海岸には黄色いハマボウの花も咲いています。ハマボウの木は今夏はどのくらい大きくなったかな? 何個の花を咲かせているかな? 夏休み、皆で見に行きませんか! 観察のあとは、お掃除もしましょう! 和と白干潟は「にほんの里100選」に選ばれ、環境省の「国指定鳥獣保護区」で「ラムサール条約」の登録候補地です。生きもののお宝庫の和と白干潟を、みんなで守っていきましょう!

・とき : 7月20日(日) 9:30~11:30 ・受付 : 9:15~9:30

・集合 : 和と白干潟・海の広場(和と白4丁目海岸)

西鉄貝塚線 唐の原駅より徒歩5分 JR和白駅より徒歩8分

・観察場所 : 和と白干潟海の広場~牧の鼻海岸

・講師 : 藤井暁彦氏(九州環境管理協会)

・持ち物 : 水筒、軍手、筆記具、あれば ルーペ、双眼鏡

・服装 : 歩きやすい服装、帽子、長袖、長ズボン、長靴

長靴のない方には貸し出しますが、できるだけご持参下さい。



ハマボウ

申し込み: 不要 参加費: 無料 小雨決行

主催 : 和と白干潟保全のつどい(和と白干潟を守る会、ウエットランドフォーラム、
循環生活研究所、福岡市港湾局環境対策課)

問合わせ : TEL/FAX:092-944-1543 山之内 Email:yamanouchi-y@mub.biglobe.ne.jp

「唐原川お掃除し隊」に参加しました

(高田 将文)



5月10日(土) 10:00~12:00「山・川・海の流域会議」主催で、第2回「唐原川お掃除し隊」を実施。上流、中流、下流の3か所に分かれて唐原川清掃をしました。118名参加、ゴミは158袋と粗大ゴミ。

和白干潟を守る会は下流の清掃に参加しました。強い日差しの下、香住丘自治会の皆さんは495号線から外輪崎橋下流まで、守る会は唐原川河口周辺と分担して清掃を始めました。唐原川河口は去年は清掃できなかったため、大量のゴミが堆積していました。川底には1人が胴長を着用して入り、長靴で入った人は堆積した泥にはまり込んで転んだりという大変な作業になりました。回収したゴミは、不燃物12袋、可燃物5袋、ビニールシート1、古タイヤ5、鉄棒2、大きな木の柱1本でした。外輪崎橋周辺は川底

に下りてゴミを拾い、不燃物13袋、可燃物16袋、自転車2台、古タイヤ2を回収しました。

唐原川には外来生物のミシシippアカミミガメがたくさん見られ、昨年より増えているようです。このまま放置しておくとうどんどん在来種のイシガメを駆逐することになり、生態系を乱すこととなります。子どもが飼えなくなったカメを放流することを禁止し、なぜ外来種を川に入れたらいけないのかを説明する看板でも立てられないものか、と思いました。

ダイサギやコサギ、イソシギ、キアシシギがいました。ツバメも飛んでいました。掃除をした区域全体では「唐原川お掃除し隊」のチラシを見て参加して下さった市民や大学生の参加も多数あったと聞きました。これから定着し、さらに周知され、参加者が増えてくるのではないかと期待しています。(今村)



「和白水処理センター」及び「まみずピア(海水淡水化センター)」を見学しました



5月21日(水) 和白干潟を守る会は、和白干潟を含む博多湾の水質がどのように汚水処理されて守られているのか知りたいと、和白干潟の近くにある「和白水処理センター」と、福岡地区水道企業団の海水淡水化施設「まみずピア」の見学を企画しました。

和白水処理センターは福岡市に7つある水処理センターの1つで、香住丘以北の下水の浄化処理をする施設です。その処理水は海水淡水化センターに送られ、海水淡水化処理で発生した高濃度の塩水とブレンドされて博多湾に放出されています。研修室で所長の宮島さんから、和白地区

では1日3万4000トンの下水を処理していること、下水処理の仕組みなどの概要説明を受け、実際に現場(水処理棟)を見学しました。

福岡市は人工島建設の前提として、下水の高度処理によって博多湾の水質悪化を防ぐと言っていたのですが、高度処理モリンの除去が大半で、窒素についてはごく一部しかできていないことがわかりました。進めるには経費と時間がかかるとのことですが、博多湾の水質をよくするための高度処理は約束どおり進めてほしいと思いました。

午後からは、まみずピアで概要のビデオを見た後、所長の守田さんから説明を受けました。1日5万トン(25万人分)の飲料水をつくる施設としては日本一の規模だそうです。海水淡水化センターは福岡市が何度も大渴水にみまわれてから始められた事業ですが、一般の上水道の2倍のコスト、ランニングコストの4~5割が電気代ということですから、水を融通してもらっている筑後川の水量が多いときは、淡水化を少なめにするなどの節約をしているそうです。一日がかりで水関係施設を見学し、下水処理や海水淡水化がどのようになっているかを知ることができました。(今村)



5月、6月の和白干潟の自然観察会報告 (今村 恵美子)



5月9日(金)香椎保育所さくら組(5歳児)37名と先生4名

子どもたちは先生や保護者15名の方とともに元気よく到着しました。先に野鳥の観察。お天気もよく鳥達も多く、クロツラヘラサギ、チュウシャクシギ、メダイチドリなどを見てもらいました。子どもたちは目を輝かせていましたが、上手に見られない子でも最後まで挑戦していました。その後、山本さんが和白干潟の話をし、干潟に入りました。皆がスコップを持ち、思い思いにコメツキガニの巣穴を掘っていました。夢中になりなかなか前に進みませんでした。促して沖へ進み、アサリや二枚貝を浄化実験用のペットボトルに入れてもらいました。帰りにはアシ原を通りアシハラガニを探し、1匹見つかりました。まとめの時には、沢山取れたコメツキガニ、マメコブシガニ、海藻などを見てもらいました。子どもたちからは色々な質問があり、時間が足りないほどでした。最後に綺麗になった浄化実験用のペットボトルを見て、子どもたちから大きな歓声があがりました。今日は5歳児のほか4歳児40名も参加、昨年まで保育所長だった有江さんも守る会のガイドの手伝いとして参加されました。(田辺)



6月25日(水)和白小学校4年生117名と先生5名

梅雨さなかでも晴れのち曇りの午後。干潟では数日前から飛来しているカラシラサギ、アマサギなどが遠い水際に並んでいました。子供たちにとっては区別がつけにくいようでした。干潟のお話を聞いた後、浜に出ました。アシハラガニはすぐ見つかりますが、捕まえるには勇気がいります。いたるところにコメツキガニや水たまりに取り残されたマハゼの稚魚がいました。貝掘りではアサリよりオキシジミの方が多く見つかりました。探す人数が多いと浄化実験用の二枚貝も多く採れ、浄化実験は大成功。和白川河口にいるハクセンシオマネキを見るために100余名で干潟を歩き、ハクセンシオマネキの大群を見ることができました。観察後の子どもたちからの質問も多く、あいさつでは「僕たちが和白干潟を守っていきます」と言ってくれました。地元で育った子供たちが、地元の海を愛し、大切にしてくれる大人になってほしいと切に思いました。(田中)



クリーン作戦報告

4月26日(土)

「干潟を守る日2014」「全国春のビーチクリーンアップ2014」参加

諫早湾堤防締め切りを忘れないための「干潟・湿地を守る日2014宣言」を読み上げ、参加者の賛同を得てから清掃に入りました。一般、企業、九産大、福岡大、城東高校、筑紫女学院高校生など235名もの参加があり、干潟と沿岸、アシ原と広範囲に清掃することができ、回収ゴミは合計63袋になりました。清掃後は野鳥観察とお茶を飲みながらの歓談を楽しみました。(田辺)



4月26日(土)

キヤノンM Jグループ「未来につなぐふるさとプロジェクト」企画

定例クリーン作戦後に社員と家族14名が参加した潮干狩りは、晴天続きで申し分ない日でした。キヤノンM Jグループの方々には手慣れた方もあり、黙々とアサリを掘る人、童心に帰ったように喜んでいる人もありました。最干潮3時間後に入った干潟では、しばらくして上げ潮になりました。泡立つ上げ潮に追い立てられて後退し、時間的には充分楽しめなかったかもしれませんが、アサリの浄化実験は成果があり、きれいになりました。子どもたちは大きなオキシジミに興味があるようでした。(田中)



6月8日(日)「ラブアース・クリーンアップ2014」参加

今年で23回目となる身近な海岸などを一斉に清掃するラブアース・クリーンアップは、福岡市で始まり、国内外にも広がっています。和白干潟会場は、守る会が担当しました。町内会など地域での清掃や探鳥会とも重なり、参加者は期待できないと思っていましたが、91名が参加し52袋のゴミを回収しました。先生を含む76名の福工大附属城東高校の皆さんはじめ、最近参加されるようになったボランティアの皆さんが若い力を発揮、きびきびと取り組んでくださる姿勢を頼もしく感じました。(今村)



ハマゴウ (クマツツラ科)

海岸の砂地にはえる小低木。莖は長く横にはい、枝が上向きに立ちます。花期は7~11月ですが、紫色の花が咲いたあとには丸い果実がつき赤っぽくなってきます。海ノ中道や玄界灘の三苦海岸、津屋崎海岸などでは大きな群落が見られます。和白干潟周辺では海の広場から唐原川までのアシ原の中道に大きな株が見られます。一度火事があり焼けましたが、株は生き残り大きく育っています。毎年大きな株に似合わないような可憐で小さな紫色の花を咲かせています。真夏のアシ原は深い藪になりますので、人々の目にはつかずひっそりと咲いています。多くの実をつけて、株は毎年大きく広がっていきます。和白干潟では雁ノ巣海岸にも大群落があります。



ハマゴウ

マメコブシガニ (コブシガニ科) 甲幅1.5cm。



マメコブシガニ

本州以南の内湾や干潟に生息するカニ。砂質干潟に多い。甲は丸く、中央が盛り上がり、表面には小さな顆粒がたくさんあります。黄褐色のカニが多いようです。浅瀬にいて潮が引いた干潟では、みおすじなど水の残っているところに多く見られます。普通カニは横歩きをしますが、マメコブシガニは縦歩きができます。動作はゆっくりで、人の近くでもすばやく逃げたりはしませんので、観察会では子どもたちにたくさんつかまります。小さな丸いカニで可愛く、人気のあるカニです。5月の和白干潟の沿岸で雌を抱いた雄のマメコブシガニがたくさんいました。これは雌が成熟して交尾可能になるまで、他の雄から防御しているのだそうです。今夏の和白干潟でもたくさんのマメコブシガニが見られることでしょうね。

コチドリ (チドリ科) 全長16cm。

和名で「小千鳥」と書き、チドリ類中最も小さい鳥。和白干潟には夏鳥として飛来しています。干潮時の和白干潟やクリークでも見られますが、塩浜畑地で繁殖しており、畑の中道で簡単な穴を掘って営巣しているのを見たことがあります。車にひかれたり、カラスに襲われたりしないのかと心配になりました。雌雄共にある黄色のアイリングが目立ち、とても可愛く見えます。「チョーッ」と大きな声で鳴き、コチドリがいることを気づかせてくれます。以前、9羽のヒナがあぜ道に並んでいたのを見たときは、とてもほほえましくなりました。この塩浜の広い畑もだんだん担い手がいなくなり、野球場など変わっていきます。コチドリの繁殖地がこれからも続くことを願ってやみません。



コチドリ

★夏の和白干潟のしぜん情報★

アシ原：干潟沿岸にハママツナの小さな芽がたくさん生えていて、とても可愛いです。7月には牧の鼻の海岸で、ハマボウの黄色い花がたくさん咲きます。幼株も増えており、大群落地になるかもしれませんね。

干 潟：干潟には足の踏み場も無いほどたくさんのコメツキガニの巣穴と砂団子があります。和白川河口ではハクセンシオマネキの大きな集団生息地ができています。

水 鳥：夏鳥として渡ってきたコチドリが繁殖しています。オオヨシキリは五丁川河口のアシ原や和白干潟沿岸のアシ原で大きな声で鳴いています。6月に2羽のカラシラサギが飛来しました。今夏も6月8日現在、ミヤコドリの若鳥が1羽残っています。越夏するかもしれませんね！



小さなハママツナ

湿原・干潟の価値1.6兆円、 保全の重要性はつきり

環境省は5月23日、全国の湿原や干潟の経済的価値を試算し、年間約1.6兆円と発表しました。湿原・干潟は日本の生態系の中で最も損失が激しく、環境省は「保全の重要性を理解してほしい」としています。評価された干潟1300カ所の1つに和白干潟も上げられています。

和白干潟を守る会の山本代表は、西日本新聞社からの取材に対して「干潟の価値は経済的価値だけではなく、自然浄化作用や、漁業、観光など干潟の多様な機能を再認識してもらうことになりうれしい。かけがえのない福岡市の宝を守る活動を今後も続けていきたい」と語りました。干潟の価値を多くの人や国や自治体が認識して、干潟の開発から保全へと向かうことを願っています。



ウミナナのなかま

中池見湿地の新幹線ルート問題、 その後

福岡県敦賀市の中池見湿地はラムサール条約登録直後に北陸新幹線が湿地の集水域を横切る計画が明らかになり、NPO法人「ウエットラ

ンド中池見」をはじめ多くの自然保護団体がルート変更を求めています。4月に中池見湿地を視察したラムサール条約ブリックス事務局長は、「日本政府がラムサール条約に登録したのだから、湿地の豊かさと多様性を後世に引き継いでほしい。登録区域内に新幹線を通すことは、物理的なダメージだけではなく、文化的なダメージをもたらす。」とルート変更を強く求めました。しかし、視察の翌日同氏を迎え「ラムサールシンポ」が東京で開催されましたが、中池見湿地の問題は議論に取り上げられませんでした。福岡県と鉄道機構は5月末に一部を着工しましたが、中池見湿地については7月に環境調査を行い、専門家による検討委員会を開催し、今年度内に結論を出す予定と発表しました。

佐賀市東与賀干潟のラムサール 条約登録にむけて公開討論会

5月、東与賀沿岸沖の有明海の干潟をテーマにした公開討論会が開かれました。東与賀沿岸部には渡り鳥のシギ、チドリの飛来数が全国一で、市は来年のラムサール登録を目標にしています。登録のメリットについて、市からは「国内外の注目が集まり観光資源に活用できる」と説明。住民が取り組む干潟の保全活動を紹介し、「まちづくりや環境教育にもつながる」と強調しました。一方、漁業者からは「野鳥保護に伴い、養殖ノリを食べる鳥による漁業被害が増える」という懸念も出ています。日本野鳥の会県支部は「大きな影響はない」と説明しています。

佐賀県鹿島市も有明海の干潟 ラムサール登録に意欲

6月、鹿島市は新羅地先の干潟のラムサール登録を目指す考えであることが明らかになりました。5月から具体的な検討に入っています。「登録により自然を愛するプラスイメージ、地場産品の付加価値、有明海再生にむけた意識の高まり」を期待しています。福岡市はなぜ同じように考えられないのでしょうか？

和白干潟を守る会へのご支援ありがとうございます！大切にさせていただきます！
5/25 「キャノンマーケティングジャパンKK.」 助成金をいただきました。

気が付いたらあなたも電話してください！

海辺のゴミやアオサをとってほしい時・自分でゴミを拾った時

092-282-7146 (港湾局維持課)

沖のアオサをとってほしい時

092-282-7153 (港湾局環境対策課)



弱った野鳥を見つけた時

092-513-5611

092-643-3367

福岡県筑紫保健福祉環境事務所 (地域環境課)

福岡県環境部自然環境課野生物係



** お 願 い **

干潟でのゴルフやラジコンの練習はやめましょう！
とても危険です。

干潟や堤防でゴミを燃やすのはやめましょう！
(ダイオキシン発生防止、ゴミの野焼き禁止)

犬のフンの始末は飼い主がしましょう！

●2014年3月

- 3/3 (月) 和白干潟通信110号編集会議
- 3/8 (土) 「山・川・海の流域会議」参加
- 3/9 (日) 和白海岸探鳥会(日本野鳥の会)
- 3/13 (木) 「和白干潟保全のつどい」会議参加
- 3/16 (日) 2014年度JAWAN総会とシンポジウム参加(広島市)
- 3/22 (土) 定例会議・和白干潟クリーン作戦と自然観察
- 3/25 (火) ラムサール条約登録街頭署名活動(福工大前駅周辺)
- 3/30 (日) 和白干潟通信110号編集会議

●2014年4月

- 4/6 (日) 春期シギ・チドリ調査1回目(今津)
- 4/10 (木) イオン黄色いレシートキャンペーン/
「和白干潟保全のつどい」会議参加
- 4/11 (金) イオン黄色いレシートキャンペーン/
イオン黄色いレシートキャンペーン贈呈式参加
- 4/15 (火) 干潟通信110号発送会
- 4/18 (金) 観察会グループ会議/
春期シギ・チドリ調査1回目(博多湾東部)
- 4/19 (土) 春期シギ・チドリ調査2回目(今津)
- 4/22 (火) ラムサール条約登録街頭署名活動(香椎駅前通り)
- 4/26 (土) 定例会議・和白干潟クリーン作戦と自然観察
- 4/30 (水) 春期シギ・チドリ調査2回目(博多湾東部)

●2014年5月

- 5/3 (土) 「山・川・海の流域会議」参加
- 5/4 (日) 春期シギ・チドリ調査3回目(今津)
- 5/8 (木) 「和白干潟保全のつどい」会議参加
- 5/9 (金) 香椎保育所さくら組の和白干潟観察会
- 5/10 (土) 唐原川清掃活動「唐原川お掃除し隊」参加
- 5/11 (日) 和白海岸探鳥会(日本野鳥の会)/
イオン黄色いレシートキャンペーン
- 5/13 (火) 観察会案内状発送会/
春期シギ・チドリ調査3回目(博多湾東部)
- 5/21 (水) 「和白水処理センター」と「まみずピア」見学
- 5/24 (土) 定例会議・和白干潟クリーン作戦と自然観察/
ラブアースクリーンアップ実施会議参加
- 5/27 (火) ラムサール条約登録街頭署名活動(福工大前駅周辺)
- 5/29 (木) あすみん主催「ボランティア入門講座」参加



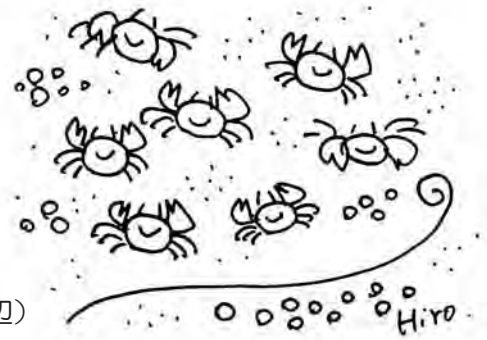
きりえ「夕映えの和白干潟」

くすだひろこ きりえ 展

・°和白干潟の自然・°

日時：7月1日(火)～7月31日(木)
9:00～15:00(土日祝休み)

会場：北九州銀行千早支店
(JR千早駅東口向かい)
福岡市東区水谷2-51-19
TEL:092-683-5450



干潟のつばやき 「鳥たちに安らぎの場を与えて！」

5月の初旬、唐原川河口の道路近くの砂洲で2羽のオオソリハシシギが餌をついばんでいました。そのとき道路から近くの住民2人が話しながら鳥の方に近づいて行きます。鳥に気づいているわけではありませんが、餌をついばんでいたオオソリハシシギくんは、少しづつ砂洲の奥の方へ移動し、波打ち際で人が自分のところに来るのかどうか、様子をうかがっています。人が更に近づき、5メートル位に近づいたところで、砂洲を飛び立ちました。満潮で他に降りるところがないのか、近くを一周してまた戻ってきました。戻ってきたオオソリハシシギくんは、波打ち際で人の様子をうかがっています。そのとき、2人は道路の方に戻って行きました。「引き返してくれてよかった！」それからしばらくの間、2羽のオオソリハシシギは砂洲で餌取りを続けていました。春の渡りのシーズン、鳥たちは和白干潟で休息・栄養補給して北へ飛び立ちます。和白干潟での短いひととき、鳥たちに安らぎの場を与えて欲しいですね。(山之内 芳晴)



オオソリハシシギ

引き続きラムサール条約署名活動に御協力をお願いします！！

昨年12月第1次集約でラムサール条約登録を求める署名は、約7000名分集まり、環境大臣、福岡市長あてに提出しました。今年12月の第2次集約に向けて3月から再び街頭署名に取り組んでいます。JR福工大前駅周辺は夕方、JR香椎駅前商店街は午前中と、署名して下さる対象者を変えながら呼びかけています。5月はJR福工大前駅周辺で、守る会メンバーが6名参加し、大学生、高校生がたくさん呼びかけに応じて署名してくれました。駅ビルの「コミセンわじろ」の職員も署名して、前回の和白干潟のクリーン作戦に参加したことを話されました。全体で81名分の署名が集まりました。雨の3月には同じ場所で署名は30名分、4月の香椎では49名分でしたので、大幅アップにみんな大喜びしました。



和白干潟を知らない県外や県内からやってきた学生が意外に多く、年配の方では和白干潟を知っているという人が多いように思いました。中には家族に教えたいからとリーフレットを持ち帰ってくれた高校生もいました。若い人たちに私たちの思いが伝わるこのような機会は大変貴重で、元気が出ます。

全国の皆様、引き続き署名を送っていただきますようお願いいたします！（今村）

イオン黄色いレシートキャンペーン報告



イオンでは、毎月11日を「イオンデー」として黄色いレシートが発行されます。そのレシートを自分が応援したいボランティア団体の「投函ボックス」に入れると、その団体にレシート金額の1%相当の品物が寄贈されます。和白干潟を守る会は、2008年3月からイオン香椎浜店に登録し、毎月11日には、有志数名がレジ前に立ち、守る会へのレシート投函をお願いしています。最近では守る会のブルゾン等を着込んで投函をお願いしていますが、揃いのブルゾンを着ていた方がレシートの集まりはよいようです。4月11日には、イオン香椎浜店1階の特設会場で、2013年度のキャンペーン贈呈式が行われました。

店長からの挨拶の中で、毎年贈呈金額も増えているとのことでした。店長から各団体の代表者にギフトカードが渡され、守る会は山本代表がギフトカードの贈呈を受けました。贈呈式の中の団体アピールでは、山本代表と田辺さんが、紙芝居で和白干潟の紹介をしました。和白干潟を守る会は、イオン香椎浜店に登録していますが、黄色いレシートは全国どこの店舗が発行したものでも区別はありません。黄色いレシートがあれば、守る会に送っていただくと助かります！

(山之内)

守る会問い合わせ窓口 **ホームページ:** <http://www14.ocn.ne.jp/~hamasigi/>

- ◎入会／観察会（申込等）・・・山之内 芳晴 Tel/Fax. 092-944-1543
- ◎クリーン作戦・・・田辺 スミ子 Tel. 090-1346-0460
- ◎会費・・・田中 貞子 Tel/Fax. 092-606-5588
- ◎広報／調査／定例会議・・・山本 廣子 Tel/Fax. 092-606-0012
- ◎干潟まつり・・・今村 恵美子 Tel/Fax. 092-942-5282



【編集】 今村 恵美子・高田 将文・山本 廣子・山之内 芳晴・田辺 スミ子
《カット》くすだひろこ ★次号は2014年10月に発行予定★

【編集後記】 夏は和白干潟の生き物たちの宝庫です。魚や貝類、特に活発な何種類ものカニがいます。7月には牧の鼻に黄色いハマボウが咲き、満開になります。一日花で日替わりに次々と咲きます。約2ヶ月間で何個の花を咲かせるのでしょうか。群落の元になる木は半球形に枝を広げていて他では見たことがありません。毎年成長しています。今年も「ハマボウを見る会」が楽しみです。

(田辺スミ子)

お知らせコーナー

国際ビーチクリーンアップ参加の ゴミデータ調査をします!

世界一斉に実施される環境保護キャンペーン。海岸のゴミを集め「どんなものがどれだけあったか」を調べます。ぜひご参加ください!

開催日時 9月27日(土) 15:00~17:00(小雨決行)
集合場所 和白干潟・海の広場



昨年度の国際ビーチクリーンアップ

キヤノン 未来につなぐふるさと プロジェクト「クリック募金」実施中!

3/12より12/12まで

守る会のホームページかキヤノンのHPから

<http://cweb.canon.jp/csr/donation/index.html>

ぜひ「福岡県」の「和白干潟を守る会」に毎日1クリックをお願いします! 1円が守る会に寄付されます。7/2現在、16,424円です。

和白干潟のエコチャレンジ “アオサのお掃除大作戦”

日時: 9/6(土)、9/20(土)、
10/4(土) いずれも13:30~15:00
集合: 和白干潟・海の広場

長靴をはいてきてね!

主催: 和白干潟保全のつどい

問い合わせ: Tel/Fax.

092-944-1543 (山之内)

定例スケジュール

定例会議(7/26、8/23、9/27)

毎月第4土曜日10時半~13時 守る会事務所にて開催

以下は参加自由です。仲間が待っています!



会員募集中!
年会費 個人 2,000円
団体 5,000円
カンパの協力お願い
郵便振替01720-4-2386

クリーン作戦と自然観察(7/26、8/23、9/27)

毎月第4土曜日15時~17時 和白干潟・海の広場集合
長靴があると便利 駐車場なし



和白海岸探鳥会(8/10、9/14、10/12)

毎月第2日曜日 9時~12時 JR和白駅前公園集合

主催: 日本野鳥の会福岡支部 参加費: 一般は300円、中学生以下は無料 駐車場なし

ボランティアへのお誘い
和白干潟を守る会のボランティア活動に参加して、新たな自分を見つけませんか? あなたの経験や知識や技術が、きっと活かされますよ!

和白干潟の鳥たち(その67)

バン (クイナ科 Moorhen) 鵞 [全長約32cm]

体は黒く脇には白色斑があり、くちばしと額は赤く、くちばしの先は黄色で、とてもシンプルな色合いの鳥です。池などの水辺で見られます。和白付近では留鳥で、和白干潟周辺のクリークや河口にすんでいます。年2回以上繁殖する鳥もいるようです。幼鳥は褐色で、2回目の繁殖時にはヘルパーとして子育てを手伝うものもいるそうです。水面を首を前後にふって泳ぎます。アシの中から出てきますが、鳴き声はあまり聞いたことがありません。親鳥のそばを小さなひなや幼鳥が泳ぐ姿はほほえましいものです。

(山本 廣子)



(写真撮影: 三宅 僚)